

運動会までの取組やこの頃の遊びの様子

旗を持った演技や集団行動、レベルの高いダンスなど、すごいなあという思いでいつも見えています。幼稚園の子が校庭を見ていると、小学校の先生たちが気さくに話しかけてくださいます。

小学校の練習が校庭で行われるようになると、いろいろなところから小学生の様子を見学することが多くなりました。



「あれ、やってみたいな」という意欲に応じて、旗などを教師と一緒に作って、小学生の演技をまねて遊び始めていました。



幼稚園は小学校の給食時間をねらって、よく体育館で遊んでいます。ある雨の日の給食時間。かけっこの練習をしていると、ちょうど昼休みに差し掛かり、5年生がやってきました。一緒に走ってくれました。体も大きいので走る勢いがすごい！

アオムシやトンボなど、虫たちとも関わることが多くなってきました。じっくり観察して、不思議に思ったり、面白がったりする経験をしています。



いつの間にか力を合わせて大きな場を作ることになりました。大変なところは呼び合って、こうしたい！と思うところはみんなに聞いたりして作り進めています。



はと組は、遊びに使えるように、色や香りのよい草花を植えました。苗を大事に扱っています。

雨の日は保育室で遊ぶことが多くなります。オタマジャクシすくいごっこを考えたり、カプラ積み木を積み上げたりして、工夫して考えて遊ぶことを楽しんでます。難しいところを聞いたり、教えたりしながらはと組、りす組と一緒に遊んでいます。

遠足の経験を受けて、はと組は共同画を製作しました。この後、りす組は楽しそう！と思ったのか、残った絵の具を使ってめたくり遊びを楽しみました。